

平成 21 年度 年度計画（概要）

公立大学法人名古屋市立大学

教 育

- (1) 単位制度の実質化のため、C A P 制（学生が各学期に履修登録をする際、その登録科目数（単位数）の上限を定める制度）を順次各学部を導入
- (2) 成績評価に対する申し立て制度として、成績等について納得がいかない学生が教員に評価根拠について文書で開示を求める制度を整備
- (3) 国際交流推進センターにおいて、留学希望者に対する語学試験対策講座や学習相談などを実施
- (4) 平成 20 年度に採択された戦略的大学連携支援事業「6 年制薬学教育を主軸とする薬系・医系・看護系大学による広域総合教育連携」、大学院教育改革支援プログラム「薬工融合型ナノメディシン創薬研究者の育成」、社会人の学び直しニーズ対策プログラム「地域—大学連携による地域医療ニーズに対応した薬剤師リカレント教育支援プログラム」、「医療保健分野における復帰と能力向上を支援する自己研鑽プログラム」の 4 件のプログラムを推進

学生支援

- (1) 就職活動について、学生が進路を主体的に意志決定し目標に向けて適切に活動できるよう、面接講座等各種講座の充実や就職先の開拓等の支援に努力

研 究

- (1) 文部科学省「再生医療の実現化プロジェクト」を始めとする先端的な研究に関する各種プロジェクトを推進
- (2) 環境デザイン研究所を発足させ、産学官連携を柱とした人材育成、企業との共同研究、国際交流を推進
- (3) 医学研究科、薬学研究科及び看護学研究科における共同研究の推進を図るため、特別研究奨励費制度において、医・薬・看の連携研究への重点配分を実施

社会貢献

- (1) 「健康教育研究推進センター」において「高齢者の健康づくりのための地域ボランティアリーダーの養成に関する調査研究事業」を引き続き実施するとともに、平成 19 年度、平成 20 年度セミナー受講者のフォローアップを行うなど地域・社会貢献活動を実施
- (2) 経済学研究科と十六銀行との間で締結した「産学連携に関する協定書」に基づき、引き続き地域経済の活性化等に資するための連携事業を実施

国際交流

- (1) 国際交流推進センターの体制を強化し、大学間交流協定大学の増加を図るなど、国際交流を推進

附属病院

- (1) 総合内科と救急部との連携強化により、救急医療の充実を図るとともに、救急医療を担う人材の育成を目的とする救命救急教育センター（仮称）の設置を検討
- (2) 緩和ケアセンター、総合研修センター、肝疾患診療室、光学医療センター、睡眠障害センター（全て仮称）など、特徴ある診療領域のセンター化を検討

業務運営等

- (1) 山の畑キャンパスにおいて、理学系新学部設置や、既存の学部・学科の再編等について検討
- (2) 監査評価室長のポストについて、事務局次長事務取扱から専任の室長を配置することとし、監査評価室の独立性及び専門性を高め、監査機能を強化
- (3) 教員業績評価制度の試行実施の結果を検討し、本格実施に向け、準備
- (4) 女性教員の登用方針の徹底を図り、女性教員比率を向上させるとともに、勤務環境等の改善を実施
- (5) 目的積立金を学生及び患者サービスの向上と投資効果の大きい事業に活用

平成 21 年度予算

（単位:百万円）

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	8,026
自己収入	20,154
授業料及び入学金検定料収入	2,424
附属病院収入	17,199
雑収入	531
施設整備費補助金	3,409
受託研究収入等	1,986
目的積立金取崩	344
計	33,919
支出	
業務費	27,820
教育研究経費	2,231
診療経費	10,070
人件費	15,519
一般管理費	704
施設整備費	3,409
受託研究費等	1,986
計	33,919